

関連資料リンク 2 奥多摩の山里に暮らす

1) 奥平イヨさん 島崎ハナさんとの鼎談

1979. 8. 7、録音テープ 2 巻、このインタビューは次の論文の資料になった。

木俣美樹男・土橋稔・篠田具視 1979、雑穀食の伝承 東京都奥多摩町水根部落の事例、環境教育研究 第 2 巻 1・2 号：77-89。



モロコシ、ヒエ、シコクビエ

◎へエ（稗、ヒエ）な、飛んでるへエ（蠅）のことな、それが色々なへエ（塀）なあ。あんなものをへエという。でも、みんな同じ発音、みんな発音同じじゃ

季人：ちょっと教えていただいていいですか？でも、昔の食べ物を食べる会というものをなさったわけですね。あれはどういう意味があったんですか？きっかけは？

◎あのそれに篠田さんという人がいるだわね。あの人がやってみたって言ったじゃないのかな？誰が発起人だったな。あの会は、私は知らないけど、

◎PTA が回したり、やったんだけどね。

◎PTA の主催にある篠田さんが相当首突っ込んでらしいやんか。

それで春男さんが乗ったんだよ。

それで、何作ったの。

◎ヒエの粥（かい）とバクメシ。それを挽き割ってね、ムギをこう砕いたね。挽割りご飯というんです。それにあのいろんな野菜、その辺の草をとって天ぷら作ったりね。

それから、何作ったっけ。11 月、12 月だったかね。モチグサでね。

12 月はモチクサないね。

その時にアワとキミとね、その青い餅ね。ただお蕎麦をみんなじゅうで食べてね。

季人：ソバはどうして？うどんにしてですか？

ええ。うどんもこんなだった。まあ半分ぐらいにしてね。

季人：ソバガキとかなんかしないで

◎ソバガキもしたんですよ。その時。それからヒエを挽いて、ヒエモチというのをこしらえた。

季人：そうすると、その方がそういうことをやりたいからってことを仰って、

◎そうですね。それで学校が廃校になるんで、なんかね、催物のようなことをしたいってね、そういうんじゃない、思いをしたいというのでね。よし、したいって明治の食べ物、その廃校の名義の食べ物ね。試食したいってわけで、これ昔のその、こんな気持ちだとか、お考えとか、ではみたいな記念みたいにやったんですよ。昔のそのそんな木鉢だとかを臼とか、うん材料はね。

材料じゃなくてね。

道具か、

道具は昔の物、みんなの力集めてきてね。私のところずっと窯付けてやったんですよ。

季人：そういう道具は村の博物館みたいなものになんかに保存したら。保存するという事とはないんですか。

◎なんかその辺昔の家に仕舞ってるんですね。それとか、みんな借りてきてね。

季人：なくなるといけないから、どっか保存するといいですね。

◎そうですね。

◎あのね。あの学校へのうちの臼の引き出しが出たとかあれはね。うちのおばあさんが明治十年、九年か、十年頃に身上を持った時に、大下の人が昔のですね。うちの改造といたんだ、改造にそいつおばあさんがマメ3升と取り替えてきたの。

うん、

そいつを、あの学校に持ってって、また醤油あげたらしいよ。

こんなにやってね。大きなね、そうだし、このぐらいあるから2尺ぐらいあんのかな。だって一尺の臼が入ってるような木臼だから。2尺ぐらいある。法子3尺ぐらい。それをね、横木で縦でないでね。櫂でもってね、こう薄めこうフチをこのぐらいの厚みにして、こうずっと彫ってね。その中に碾き臼と石臼をぼたんに入れてね。その上に、もう一つ重ねて、上からタケをつって。竹の先をこう曲げてね。この曲げた竹を結わえて、それでつってその臼のこう竹があるでしょ？それにこうひっかけて、こうやって結構挽いたもんですよ。ふんふんふん。一周するんですね。私それで粉を作るだけ作ったんですよ。それで少しずつこうでこう挽きながら、こう持ってね。こうやってここにまだあるけどね。うち使ってるんですよ。おソバ挽くのに。

そうですね。はい、

その会のきっかけというのは、その小学校が無くなるんで。

分校がなくなるそのの記念にやろうというように。

◎そうですね。その明治のね、食べ物の試食会をし合っているわけなんですよ。

季人：どうしても昔の食べ物を食べようということですか。

◎やっぱりね、食べてみたいなって。

そうですね。

その隣ね。後ろから来た人が良く知ってるんですよ。

季人：いや後でまた伺って聞いて、昔の食べ物が懐かしいかなとか、そういうような理由ですか。昔の食べ物が懐かしいからとか？

◎私はよく知らない。ただね。あの家を貸してくれてちゅうわけだよ。貸しただけなんです。だからなんか詳しいことはよく知らないわけです。

その方が詳しい。え、この隣りの意味は分からないけど、ものを作るのはこの人が作ったわけじゃない

◎知人もみんなね、その聞いて奥さん連絡で作ったいやけど。いわゆる集めた。いいよいいよ。ヒエはね、内でもらっておいて挽いたんですよ。ヒエモチとそばは内でね、作ったです。

季人：ちょっとそれはいつ行ったんですか？去年、一昨年、

◎もう一昨年の12月だったかしら。私も忘れちゃったんだけど。この篠田さんときたら、なかなか学者でね、そういうこと先立ちやったもんだからよく知ってます。でそこだからなんか昔の物が出てきやしないかなんて、うちのそこらを掘ったりしてね。あのね、昔々私は食べてあかし、あの安政生まれのおばあちゃんと一緒にいてね、食べたのはね。一番ヒエはね。畑から採ってきて粉すでしょ。粉したらよく乾かして、それを引き受けてゴリゴリ挽いて、皮をむいて。その粗皮を剥いたのご飯に炊くわけね。お米なら一合を入れてお米が煮たったらそこへヒエをこうバラバラ入れて、そいつを混ぜながら、泡がぶつんぽつんと泡がぶつんと上にまでに混ぜてね。とろ火で蒸しておいしいですよ。

季人：この辺の五穀っていうと、やっぱりヒエが王様

◎そうですね。ちょっとあのお客さんなんて言ってほら、こういうように穂が出るのがあるでしょう。葉草のような形でこの穂が出るのがあるんですよ。どの辺じゃチョウセンビエとも言ったけど。エゾツピエと言った。

季人：エゾツピエの方が多ですか。

◎そうですねって言ってね。あんまり美味しいものじゃないけど、たくさん穀が取れてね。その中にアカモロコシを2割ぐらい入れて、団子や饅頭にして食べたんですよ。

季人：いや、僕、食べたことがあります。そうですね。西原で。アカモロコシはおいしいですね。

エゾツピエはそれだけ粘りがありませんから。ぶつぶつでね、もうそこでね。だからちょっと混ぜると粘って美味しいです。あのままじゃお団子にならないんですよ、キミの中にね、メリケン粉の麦の粉のオオムギの粉かなんか入れて混ぜなければドロドロになってこうお団子にならないわけね。キミはね。それで、私なんか、エゾツピエに、それ私なんか食べた。

お客さんどこで聞いた話ありますか？この辺でゼンブといったものがあるんだ。

季人：ゼンブですか？

◎これもですね。山芋の葉によく似て畑にするんだって。それで実がやっぱなるんだね。根っこの方はちょうど人間のあれによく似てんの。金玉によく似ている。まあ、丸くてね、こうこうにあるでしょ？ここでこうじゃあ、ここからこうですね。根はね。丸い根があつてね。次はこう出るでしょ。山芋あるんで、ちょっとここにこんで、ここにこう毛がいっぱい生えているのね。あのね。

季人：カシュウイモかもしれない。

◎そうですね？たぶん、実の方はよごいのね。

季人：黄色いんでしょ？

◎黄色いのね。はいはい、茹でてあんまり知らないけどね。あの根の方はホクホクして美味しい。

えそう覚えありますか？話聞いているのがありますか？

季人：多分、そうです。

◎あ、そうですか？山芋の葉を丸くしたよりはです。いや、こんな広いこんな大きい。そして葉を広げたで節々から葉が出て、葉がでたら、こうやって丸い芽が大きいのが使われる。

季人：私、食べたことあるんですよ。割と新しく入ったものですね。明治ごろに。

◎あそうですか。もっと古いですかなにか。私は知らないけど、そのうちのおじいさん嘉永生まれでね。そのおじいさんが作って食べたことがあります。

季人：じゃあ、きっとあれだと思うんです。この間の栃谷っていうあの神奈川県なんですけど、こちらの村に行ったら。丁度、村の方が、それが欲しくて集めたところだっておっしゃった。

◎今でもあるの。

季人：あのいや、弘法大師が昔来てですね。で、それが美味しかったからと褒めたっていう話なんですけど、で、

◎うちのほうじゃあの犬も食わないというの、まずいから。

季人：なんか、あの晒すかなんかしないと、あのそのままよく茹でて食べたいですね。

◎うんうん。実の方は食べても美味しくなかったね。それであの実はね、一旦あの種をまくでしょ。こういうそうするとそれはしなびちゃってね。その先に着くのがこう食べられるんだよね。大きくなるのね。

季人：ナガイモもヤマモも同じですね。

◎そう、それでね、形がこんにやくによく似ているそうです。

◎じゃあ、ちょっとあれですねえ。今でもありますかね？どうぞ敷てください、どうぞ、

季人：いえ結構です。

◎そうですか？

季人：そうするとそれはお昼頃から初めて3時間ぐらいやったんですか。

◎朝からもうね、・・・火が危ないってなります。他に消防ポンプを据えつけてね。あ

季人：あのやぶやじゃあ、場所はあのお宅を使われて？

◎はい、それには全部、そっちの方からこっちの方までみんな竈をしいて、昔のこういうの集めてきてね。そうそう。

季人：人数はどれぐらい参加したのですか。

◎100人のようくらいじゃないじゃないですか。みんなじゃ私が知らなきゃ。何って聞いているんだとでよくやろうと大人の人が言ってますから好きだったの？

季人：隣とそのあの旅館かなんかやってるおられるですね。

◎民宿、そしてね。その人はみんな一緒になってね。PTA なんかと一緒にやってたんだから、そういうこと。私は庭と家を貸してくれと言われるわけで、貸しただけなんでね。学校の生徒があのお昔、お正月の繭玉作ったでしょ？これね、それをこう作って飾ったりしてね。

季人：そう主に参加されたのはお母さん方が多いわけですか？

◎お母さんからお父さんほとんどね。

季人：要するにあの水根の部落の方、ほとんど

◎区ですね。区の方がほとんどね、来ましたね。一軒一人ぐらいは、それで子供さんのいる家はみんなご夫婦でね。

季人：区と言うと、どういう？

◎行政区です。中山行政区ですね中山と水根を合わせてそうなんです。中山とずっとこっちがね。行政区の大行政区ね、あの古里の方から苦情がでて。境行政区。

季人：その行政区っていうのは中山と水根なんですか。二つですか？

◎それに道所。

季人：中山の方もたくさんお出でになったのですね、

◎そうですね。

季人：そうするとお父さん、お母さんから子供から。

◎それから年寄りなんかみんな来てね。

季人：じゃあ子供さんが一番多いわけですか？

◎子どもはないです。ただ、四年生まで6人ぐらいしかいない学校ですから。

じゃあ、うちはなんかねきましたから、

季人：お年寄りが主に楽しんだのですね。

◎で、年寄りの方たちはこの隣に行ってね。それでお昼にそのバク、バクメシとかそういうものをね。少しずつこう試食したらしいです。

季人：そうすると、それはあのPTAの方たちがいろいろこうなんかパンフレットみたいなものを作って宣伝して廻ったわけですか？参加しようっていうのは。

◎PTAで決めたんでしょうね。私は全然そういうこと知らないんだけどね。

季人：そうすると、ここに主に材料集めと。

◎材料集めの方はみんなあのやっぱPTAの方でね。

季人：PTAが集めたんですか？

◎うちはソバだけ出してもらいたいというので、うちのソバ出してね。それから中山の方からの挽割りとかヒエもらって、そして挽き割のご飯炊いたりしたりした。

季人：学校の先生なんかもうなんかなさったんですか？

◎そういう時、そうですね。先生たちみんな来てたんですね。

参加して、先生4人ぐらいいたんですから。生徒6人でもね。

季人：じゃあ、先生方は特に何もなさらなかったのですね。参加したっていうだけで、

◎なんだか大勢でぐずぐずしていたから、よく私も知らないですよ。だが、天ぷらなんかも大勢で揚げてるしね。お餅を作ったり、

季人：てんぷらというと、主にどんな物ですか。

◎ユキノシタとか聞きました。何あげたんだろうね。色んなもの揚げた。

季人：その開けてなかったウワバミソウとか。

◎そのえらいあげたんだけど、私なんかどこに食べてもいなかった？見もしなかったからね。イワナともいうし、それからあの。菜っ葉のような、ミズナなんてね。あれは生でも食べられる。よく家に出てたね。心臓が駄目だって言ってたから、別に食べなかったんだけど、

やっぱり私はただね、ヒエモチだけこしらえてくれと頼まれたんですわ。ただヒエモチだけ作ろうと思ってね、

季人：やっぱりこう丸めてぺたんとしたやつですか。

◎あんまり熱いと思ってね。あんまり熱くないので。これ本当はね、冷えて絶対もうね無理だよ。茹でこねると甘くなってまずいね。

そしてね。一旦拵えたのはね、あの温めるんですよ。囲炉裏の灰で焦がしてね。捏ねてね。こねて丸めてホウロクに入れるんですよ。ホウロクでね、こうあのホウロクでこうひっくり返して灰がつかないまでこう周りが固まるところに入らなければ

季人：油なんか使わない。

◎油使わないですね。

季人：焦げ付かないですか？

◎大丈夫です。ここでね、この間もね。なんかその学校の話ですが、作ってくれたけど、これから作っちゃって、さちゃん達が来て、ホーロクっていうのも、こういった農家には昔のがあるかもしれない。

◎うちの昔のじゃないの？戦後のなんですよ。そのフライパンに昔のおっきいあの鉄のね、だったんだけど、

◎今、鉄じゃねーの。

いや、あれはだっとうちじゃ一番高い鉄の、じいに買ってきてもらってさ。鉄のはね。ダメになっちゃって、鉄じゃないんですよ。

◎で、終戦後、買ったならこれちょっと軽いやつでね。

季人：山梨のほうで見せていただいたら、こんなでかいそうです。昔はこんな大きいんですね。

◎はい。それでもあれだよ。一時炭焼きしてたからね。終戦後はね、うどん粉から一升ぐらいかくんですよ。それでホウロクに入れてね。タラシモチ。それで山の弁当のカオチャが

季人：タラシモチなんか塩入れるんですか？

◎あのね。ちよっぴり塩入れるぐらいで終戦後何もない時だからね、それから。そうね。それをまあ、作る人によってでしょうかね。こんなの7つくらい入れてね、ちよっといくつぐらい一人方分。

終戦後、食うものがない時だったから本当にね。仕事で山で切ってなんかその労働でしょ？お腹すきなんで4人で行ってたからね、男の子とオヤジで。ずいぶん終戦後食い物のないときは苦労したね。もう前の日から来てバクなんか作って煮といたんだね。バクはね、朝掛けて、便利だからね。そう前の日に来て、煮ておいたもんだから、あんたぐしゃぐしゃ面白いのでね。あと残って困ってた方が持ってってもらって。

食べないんですか？そんなに？何がね、何入れてんの。材料になっても相手は大丈夫なんだよ、いいんですか？いいん？

それでね。年寄りね。まあ、軽くいっぱい作ってるのにね、本当にひと口ぐらいだったんで、この隣でね、あのみんなと一緒に出したんだってけどね。バクもヒエカユもこのくらいしか出なくて、

季人：あれは消化いいからたくさん食べて大丈夫です。

◎だからうんと残っちゃってね。であと困っちゃう。

私はバク、昔、おばあさんと煮て食べたけど、いや、マルムギ丸麦、夜に、朝、煮れば大丈夫だったらに入れてふやかしとけ。それも夜だいたい煮てね。たまに生煮えだったらいけないだ。本当は夜、煮てたらそのまま寝る火かけておけばいい。火かけておけば不味くならん？明後日、夜バク食べる時に煮かけて、それで寝ながらかけてこんな火を入れて2、3

本入れて、そうすると朝ちようど食べ頃になっちゃう。いや、なんかでもバクはまずいけど、バクのおいしい日本のオジヤって美味しいよね。私も少し食べたけど、美味しかった。

季人：子供は喜んで食べてたんですか？

◎子供はそのね、ムギメシの喜んで食べたらしいです。麦飯の一釜炊いたんだけど、人とかもいたんだけどね。それでトロロ美味しかったと言って一人の子なんかうんと食べたらしいですよ。だから一番先になくなったらしいです。

季人：ヒエモチはなんか食べなかったですか。

◎ヒエモチは一升だからね。いくらもできないからみんなでこう一つ、ええ。味見ぐらいだったらしい。

季人：甘酒はやっぱりあのムギ麴で作るんですか？

甘酒、あのね、買ってきて使ったんですね。それからけんちん汁作ったりね。なんだかいんなものを作っていましたよ。けんちゃんや、甘酒。だからソバ作れほとんど人ですってね。近所のおくさんが一人がこの私がこのしてきた。

そして細く切って。

このぐらいの九つぐらい作ったかな。気まぐれにそっちの部屋でね

季人：そういう会を一昨年やって、その後またやろうと言う話はないですか。

◎今のところないですね。

みんな食べて美味しかったから、うちでまたやってみようとか。

◎なんだかね、

季人：お宅であれだけ作っておられるんですから、誰か少し分けてくれて言ってこないんですか？

◎あのね。キミなんか搗いとくとね、あの欲しい人がいるんですね。この間もね。年寄りの人が、キミのオセキハンを食べて、食べたいから。うちじゃえらくないからね。くれちゃって5合やったんですよ。そしたらそれと赤飯してね。あの持ってくれたら年寄りの方がね。こんな美味しいものがね。もらいたいんだけどね。

キミじゃ2日か3日ふやかさなかつたら。コメと一緒に蒸けないでしょ？いくらでもいいからね。たとえば、一合でもいいから見つけてくれっていったね。また、その人が言うからね。キミじゃ日ぐらいよく潤かさなければ米と一緒に搗けないでしょ。なんだろうね。私いつも一緒にするけど、全然ついてアワやキミはよくふやかさなきゃ潰れないのね。

季人：ぼくも少し持ってるんですけど、一升ぐらいあのあれです。

◎粗ですか。

季人：いや、やりようがないから。

◎そうですか。もしありましたら。

季人：キミです。まだねうち少しあるんですよ。貰い手がないんで困っておる。そうですか？じゃあ今度持ってきます。

◎どちらですね？まあ、あのお宅は？

季人：生まれですかね。今現在、立川ご存知ですか？立川の隣の国立ってですね。

◎あの辺の農家に碾き臼はありませんかね？

季人：やあ、もうないんじゃないですかね。

◎あれはね、挽き臼でぞろぞろ挽いてね。皮がむけたら、箕でこう吹いてね、皮だけ取って後また細かく粉にしてね。メリケン粉の半々ぐらいでね。あの団子したら美味しいですよ。聞いてみてごらん下さい。

季人：だいぶとったんですよ。一升ぐらい取れたんですよ。

◎ちよっともったいないからね。一時、去年はね、当たりでね、少し作ったら？1升5,6だからね、そのキミはね。枝のままおけば、何年経っても痛まないからね。だからそれをね、どっか近所で碾き臼、昔のお婆さんやった事ある人あるからね。

一升瓶でこう搗いたってね。もう大変なことだ。一番いいのはね。碾き臼挽いて皮を種からちよっとお米に付けません。あの皮を取ってね。水でジャブジャブ、吹いて残ったらしいところだけ。このまたお米にするんですよ。はい、お米にしたらね、メリケン粉の半分ぐらい。

季人：そうすると、そのそういう会をやって、お年寄りが非常に喜んで。あと、その後、あんまり食べたいっていう人が現れないというと、それで終わってしまったわけですね。今のところ。

◎そうですね。なんかね。あとで会うと美味しかったって人もいましたけどね。年寄りの人が。

季人：これからもう一回やろうという予定はないんですか？

◎今んとこないですね。

季人：ずっと回っていて思うんですけども、子供の時に食べるとですね。自分が今ちょうど30なんですけど、その30ぐらいになるともう一回食べたいという気が起こってくるんですね。

◎なるほどね。

季人：ですから、子供の時にそういう会をやって、一度でもいいから食べさせておくと。その年取ってからもう一回食べたいとなるんじゃないかと思うんですね。そういう気がするんですね。いろんところでお話を伺っていると。だからこういう会を時々まあ、一年に一回でもやって、子供達にそういう物を食べさせておくと。

◎それはあるわね。はい、私は今一度食べたい。焼餅食べたい。

◎焼餅作ってやるよ。まだヒエがあるから、あれね。こないだね、4月頃ね。あんこの塩餡入れてね。それでヒエ焼餅作ってたんで。またね、写真撮るだって、本に載せたいと言ってね、隣の人と2人で、それが作ってネコで焼いてね。再びで食べてね。

◎雑穀ではあのキミとヒエが一番美味しいよね。ヒエモチてのは香ばしくて美味しいですね。だから昔はね、それが良く挽けて。

◎昔、二宮金次郎が道にあるのを抜いてみて。路芝の話が深いけどね。今年は早く寒さが来るからコメみんな抜いてしまって、ヒエにしろって、それで田んぼのコメ抜いてヒエにしたら、その時米が見られなくてヒエ作った人は助かったって事は本に出てたっけね？。

◎だから今年は陽気が良くないね。

季人：良くないですね。今年は。

◎今年すごい悪いね。ヒエね。去年もね。少し作ったのがでも良いとかってね。二度ばかりでまだ入ってしまったって。

季人：そう東北の方で米悪いんじゃないですかね。

◎なんでここが悪い。今年、ジャガイモは一つも花が咲かなかった。

◎咲かなかった。

◎去年の半分ぐらいですね。ジャガイモ。

それで今年ナスがもう未だに秋ナスになっちゃうんですけど、ジャガイモ、去年も本当ですね。それで秋ナス、もう1月前から秋ナスだからね。ナスがえんでしまうだけ。それで切ってなんか種が黒くなって。もう駄目だね。なんかちよと陽気悪いね。みんながですね。

季人：今年はトマトやキュウリもダメであの春が暖かかったから病気が出ちゃって、なんか陽気だね。春バカ陽気軽くってそうやって6月まで勝負がどんな感じでこれからソバを播くんですけど、

季人：ソバなら大丈夫じゃないですかね。

◎私は異なるソバ、遅くても平気かもしれないよ。今日も遅くても平気だったね。今年は7月だから秋が長いじゃないのかな？

季人：そうですね。

◎これから15日頃からずっと空いて、ソバ播き、旧7月が2回あるから。うんさつき長いじゃないかな。じゃああんまり早くなくても大丈夫かな？なんか15日過ぎに播けば、ちょうど花が咲く時に宵闇が出る。出来なきや、いや、みんなに分かってね。旧10日ごろ播けば、また宵闇になるからね。

季人：それであのこんなようなことを調べてみたいと思うんですけど。どういったものをですね、好んで食べられるかと言うことですね。で、会の効果とか、そういうことを。

◎ラーメン、ソバ。まあ、この辺で味噌汁作ですけどね。うちで味噌作るからね。

季人：あとこの中の方とかですね。そういったことは水根部落の20軒って回って教えて頂こうと思うんですけども。

◎ああ、そうですか。

季人：子供さんから、おじいさん、おばあさんまでですね。で、この昔の食べ物を食べる会ってというのがどういう効果があったかと言うことを聞いてみようと、分かればいい。

◎そうですね。聞いていただければ。

季人：個人個人から聞いた方が。

◎そうですね。良く分かりますで、

季人：それをまとめようと思うんですけども。まとまったら、またあの教えてくださった方に全部送るように、もちろんします。、どんなものでしょうか？あのこういうようなアンケート用紙で。

◎いいでしょ？そりゃうん、いいでしょう。私なんかもう。1月に、1週間に一回、肉は食べるかな。魚がそうだな。ナマリでも買っておいて煮るから1週間に3回ぐらい食べる。それあとは味噌汁とご飯と漬物と、ほとんどそうだね。パンも食べないしね。で、一日にひとりで一升五勺のお米とね、それからね、麦がちょっとというようなことですね。

季人：もうひとつ、こういうようなことで、いま何をお家で作っていて、どういう家族構成でそれから？どういう料理ですね。お餅だったらお米で作るとか、キビで作るかとかそういうのと、それから年中行事で主にどういうものを食べるとか、そういったことまで調べられたら、その食べ物と村の日常生活のことがわかるんじゃないのか。

◎そうだね。うん、私は昔のままだから。うちにあるのは、あんまりらが肉なんか買ってほとんど犬にくれちゃって、自分で食べない。

でだから自分なんか野菜ものが良いってね。あれだけでも買って、あれだよ。ダイコンでも煮て、入れて作っておけば3日くらい持つでしょ？

季人：そうですね。一度作っておけば、

◎一人だからおじいちゃんが今、入院してるから。

季人：そうですか？

◎なんか作ってもほとんどうちは食べないで、野菜やったりさまでね。お陰様でね、東京医大に入院してるけどね。あれねうちで。奥多摩病院かかっててね。去年の9月、すごいあの高血圧でね。動脈瘤の一步手前だって入院しててね。その時は東京医大だか日本だから来た先生がね、あの。バリウム検査してくれたらポリープができてるっていうわけでね、そしてポリープを取って帰ってきて、またこの5月検査したらやっぱポリープができてるって、それでまた行ってポリープを取ってきて、そしたら先生の方から出てこいって言って奥多摩病院行ったらね。また、入院するかって、するっていうじゃ5日の。ちょっとだけ高くするわけ。その先生の方からそうやって連れてってもらって。そしてこのポリープとったあとはね、どうもきたねえってね、先生。ポリープは三つできて、取ったんですって。だから先生、どうかしてポリープで直そうとしてたんですけどって、あとで荒れてるので手術した。だから長いわ。お陰様で医療費はただになってるから、しっかりお年寄りには助かるよ。私は一人でもし10日から一人でもうそんなに。30日、6月の30日で東京から直に電話でね、奥多摩病院行って今度木曜日に出て来い。先生いらっしゃいますか？今、東京から電話だと言って。看護婦さんが、行ったら入院するかって言うから、そのポリープができてるか入院するかって？するとじゃベッドが空いたら連絡すると1週間待ってる。でも、翌日はベッドがあいたからね。

季人：説明はこんなもんでどうでしょうか？これでずっと部落、あのちょっとお邪魔して、こういうこと言いだしまして

◎ええ、いいでしょうね。夏休み子供さんもいるしね。

季人：やっぱりこういう会時々開いていただいたほうがいいと思うんですけど、

◎そうだね。

季人：もうこの20年、30年の食べ物が全部変わってしまって、

◎変わったねえ。

季人：あんまりいいことではない。

◎子供なんて、みんなラーメンばかり食べたがってね。ラーメン良くないですね。このぐらいちっちゃい子供の高血圧と、それからあれが、心臓病が多いんだってね。老人病が出てるんだってね。

季人：やっぱり食生活が急に変わったからだと思うんですけどね。

◎あのね、だからうちの女の子なんて、娘が言ってたラーメンは年寄りにくくてね、若者くれるんじゃないかって言ってた。年寄り早く死んでもいいけどね。うん。

季人：そういう言い方もないですけど、なんかやってて。

◎私はラーメン嫌いだよ。うどんが嫌いだから、ソバなら何回でもいいんだよ。いや、ソバで育ってきたから。

◎ひどいよ、私なんか育ちはとても酷かったからね。身上を持ちたくて、昭和五年に身上もったんだけどね。

季人：すみません、さっそく書いて頂けますか？

◎あー、そうですか。私はわからないからよ。

季人：はいじゃあ、〇つけてください。じゃあ、朝ご飯ってよくお食べになるものですね。

◎卵と味噌汁とご飯です。

季人：普通のお米のご飯。

◎ええそうです。肉類とかそういうのは朝食べない。

◎食べないね。

季人：梅干しとか。漬物梅干し

季人：梅干しなんか

梅干は食べない、塩気が毒だからね。果物。マジックだね。一年で無駄も私好きだからだめです。武藤の人2人ぐらいね。それはお昼そうですね。

◎お昼でしたらお昼ごはんはやっぱり味噌汁におしんこに魚ですね。魚ちょっと。

それとご飯と。ええそうですね。パンなんかほとんど食べられないね。うどんとか自分のね、食べるものだけ〇つければいいんですか？

季人：お願いします。どっちでもいいです。

◎えーご飯だね。

季人：ちょっと夕ご飯はどうですか。

◎夕ご飯もやっぱりそうだね、味噌汁に私はおしんこにご飯とね。

季人：あと野菜の煮物とか。

◎ええそうですね。お魚食べなきゃ野菜の煮物か味噌汁でね。

半熟に食べる。漬物・・・

季人：朝にノリなんか食べますか。

◎ノリは私食べない。食べることもあるしね。いろいろだね。

毎日同じって言われる

おじいさんがいるとね。2人だから。自分じゃなくて、おじいさんに食べさせてようと。どうぞ親父さん何もないから、ノリ食べよなんて言うけど、自分一人でほとんど食べない。果物、野菜はダメだ。

◎ブドウ1房だね。

季人：夜もなんか？

◎そこに決めて食べないね。

季人：あればですね。

やっぱりたいがい夜もご飯だね。このほど一つ定め一日中この間、あの孫が来て、これ二つを食べたら気持ちが悪いていって言ったよ。

季人：そうですか。

◎なんか食べ過ぎたぞって。私のような事件になった。ね、おじいさんと2人でいたら、3合ぐらいご飯炊くんですよ。そうすると時による足りない時にはね。パンでも私が食べるぐらいでちょっと

主に主食で食べたお米ですね。

ムギはちょっぴり入れて食べるだけですね。

季人：うどんとかパンは。

◎ええ主食に食べないの？仕方がなければ食べるぐらいなのか。夜はソバが好きです。お餅なんかも好きです。

季人：ラーメンとかパンとか。

◎もう一回もう一つ食べたことないけどね。

季人：野菜で好きなものは何ですか。野菜でトマトとかキュウリとか。

◎嫌いなものはひろうぐらいですよ。みんな好きだよ。あ、そうですね。

季人：じゃあ嫌いな野菜は。

◎野菜ほとんど食べるね。ニンニクは嫌だね、匂いがね。うん。他のものはほとんど私は食べる。

季人：肉類で好きなのは。

◎うちではね魚、豚肉が少し食べますね。1週間に2回くらい、おじいさんがいれば、鶏肉食わないね。の取り組んだ沿う川魚。

川魚も食べないね。海の魚。

最近海の魚でも食べるものは年取って決まっちゃうよね。もうませサケ買ったしょっぱいから嫌だ、マスは味が無いから嫌だっていうし。

季人：卵は時々食べますか。

◎卵は毎日食べてます。

季人：貝なんか？

季人：果物で好きなのは？

◎全部好きです。全部もうカキとかミカンでもでもなんでも好きです。

リンゴ、ナシでもイチジクうんやるのがために。

スイカとか、バナナ、モモ。

一本ぐらい食べます。ブドウのですね。すべてです。すべてただアメリカから来る。

季人：グレープフルーツ

◎それを止めかな大きい。あれ、あれだってこの間、何も無くなったから、二つ買ったら種子から芽が出て、こんな芽が出そうです。あれ食べなきゃ食べてるだけでしょ。そうでもないですけど。あれも東になったから種子が、芽が吹いて足が来ない？あれはまずいなあ。何と私の車だけまだあります。あれはアメリカから来る。

季人：レモンとかなんかも

◎いやですね。ほとんどね、食べないね。

季人：じゃあお菓子はケーキは好きですかね、

◎みんなやっぱ好きなことはみんなこんなの好きだね。喋ればいいけど、まあ。食べる愛でますけど、いいんですね。孫でも来れば。

季人：ビスケットとか。

◎あれも好きですね。

せんべい、うどんも食べる。昔は好きだけど、今は食べません。でもしょっぱくていやですね。パンのたまには食べるし、ラーメン。

季人：アラレは？

◎うん、アラレ、今は食べません、しょっぱいから。

季人：チョコレートとか。

◎チョコレートは食べます。

季人：甘いのはいいですか？

◎歯にくっつくから。本当に嫌だね。甘いものは飴とかガム。飴は食べますね。ガムが駄目ですね。歯にくっつくから。

季人：飲むものとしては何が好きですか？コーヒーとかお茶とか。

◎めっちゃジュースはあんまりうん、ジュース飲むならお茶を飲みます、

季人：紅茶。

◎ジュースなんか飲むんだったら牛乳飲みます。昔からそうです。

季人：それはそうですね。甘酒なんか

◎好きですね。

季人：ビールとかお酒

◎絶対だめです。若い時から嫌いですね。本当にこんなチョコ二杯飲んだらダメだからですね。なんかぜんぜんやっちゃってるからね。ちょっと

季人：あの昔の食べ物を食べる会ですけど、今後もこういう会をこうやった方がいいと思われませんか？

◎イヨちゃん：うん

季人：いやあのお母さん、

◎私はあのやれたらやったほうがいいと思いますよ。昔の事が残る一回ぐらいうんうん。年に一回ぐらいです。秋ね、はい秋、モミジでも見ながらやればいいと思うけど、人のことだからね。

そうね。野菜、ほとんどみんな食べるね、こう野菜物はね、ジャガイモ。サツマイモは好きじゃないけど食べるよ。

◎食べるよ。天ぶらの人も食べるしてくれたとお餅。

季人：参加されてないんですね。

◎その時に。私は参加してない、私はもう 72 だから。年齢だから参加されなかったですからね。体が弱いから動けない。

季人：だってまだ若いでしょ？

◎でも、心臓が悪いからね、この頃、漸くをして歩けるけどね。去年のね、7月はほとんど歩けなかった。それであの去年の7月、先生がジゴキシンというクスリ出してくれてね。はい、それはでも2週間飲んだらずっと効果があって、心臓の筋肉疲労で心筋梗塞だと言われて、だんだんそれ肺が真っ黒になって、あのね、手あこう、こういう写真撮るでしょ？肺のこの辺がこの辺の場所がレントゲンでね、すごいこの辺白かった。

季人：どうしてでしょうね。

◎青い空に雲が出てね、その雲に太陽の光線させたような白さでも、レントゲンのこの下はちょうどこのぐらいの場所が真っ白だった。入る人がそれとうとうね入院しちゃったけどね。ここから先チアノーゼで真っ黒になった、先生がもうダメだと思ったじゃないかね。明日になって直ったら帰っても良いつて言ってたから。酷かったですよ。そうそういうひどいことは、そうしたらさあと全然肺に酸素通ってないです。だからその病気しているからね、それで発作起こした時なんか2週間ぐらいほとんど自分の意識なかったですね。で、3週間ぐらいほとんど食べ物食べられなかった、そういう病気してるからね。心臓高いとき、ちゃんと三つが悪いから。でも、このごろ、いいから登るんだけど、ほとんど登れなかったね。

季人：ちょっと昔の食べ物は、これからも時々食べたいと思われませんか。たまにはですね。

◎食べられないわね。

季人：やっぱりあのこういう食べ物を食べる会やると、まあどういう意味があるかという
と、先祖の食べ物を知ることですかね？。

◎いいことじゃないかね。

家で昔の食べ物を食べたって、食べてみていいじゃないかな。

季人：まあ知ってるに役に立つ。

◎本当、私の考えではね、ヒエとかね。それからソバね。そういうものはね、ずっと食べて
いると体のためにといいらしいわ。アワ、ヒエは。なんか昔の人は高血圧も少なかったし
ね。あれはいいんだね。私はね。そしてそして体にむくみが出てね、心臓が弱いから。それ
でね、今、ゲンノショウコとヨモギとね。昔から薬マメと言っている家で作っている黒豆
とね、フジクズマメを掘ってね、煎じて飲むとね。

季人：はい。

◎それであの昔から薬待っていると内で作ってる黒豆とね、だからフジマメ、大根干してた
煎じて飲むとその娘が取れるんですよ。すごい。だからそれ飲んでの方が良いね。だから
あの病気は周り治らない。でも直す手助けはしてくれるのね、そういうものがね。

私の友達がやっぱ心臓でね、悪かったのもその人にね。私の持って行ってやったらその人
ちょうど煎じ薬飲んで皆悪かったすれば捨てればいいと。それわかんない？4 日目一番便
所が出て困ってたのはね、そのヨモギやなんかの煎じ薬飲んで、毎日便所について、良か
ったっていう。だからこの薬草もいいんだね。

季人：そうですね、そういったのは。それからあの、この水根部落の自然ですね。こうい
う風土ですけど。あの非常に恵まれていると思われませんか？

◎私はそう思うね。葉緑素は足元から吸っているからね、私みたいな体の弱い人にはいい
と思うね。

季人：じゃあ、そうすると社会的な環境ですね。学校とか役場とかそういうのはまあ遠い
とかそういうことありますので。恵まれてると思われるか、それとも恵まれてないと思わ
れるか。

◎そういうことは、恵まれていないって言ったって仕方がないことだから、自分達がさあ、
不自由なく学校もバスで通えるし、役場だって不自由なく行かれるし、別にあの恵まれて
いないとは考えられないでしょうね。まあ、別に私の考えとしてはね。かえってそんなな
くてもいいと思う。

季人：じゃあ、もしですね、あのどっか別のところに住むとしたらですね。こういうところ、
今現在のところにいたいのか、それともこう大きい町とか村とか、そういうところ行きたい
と思われるか。

◎もう行きたくな。ここで生まれてここで育ってきて、

季人：やっぱりこういうところがいいと。

◎うん。そうね、若い時ならね。若い時で手足が動いてね、私も若い時で手足が動いて働
ける時だったらね。

◎ここは米が4割入れればよい方だったら。酷いもんだったから。お蚕を飼っていくらか、
よその山刈って、炭焼いて、それ以外は何も収入はなかったんですよ。

季人：そっからずっとすみません、お願いします。

◎何にも収入なかったんだから、それ以外で収入がない。ダムができるって工事ができるとしたらついて来たけどね。

季人：ちょっと今後、水根部落は、まあ、今後どういった産業に力を入れたらいいと思います。これから農業とか林業とか。

◎ないでしょ？今ここじゃやっぱり。

季人：民宿なんかやって観光でしょうかね。

◎私の考えではワサビだって作ってる人が持ってるだけで。全部がもっているわけではないし。一部の人がやっている。

季人：お宅では少しあのおばさんが農業やっておられるわけですね。こちらはね。それは少しずつでも今度やっていきたいとおばあさんとこちらの

◎私はやってないだよ。私は店貸してきてるんだけど、

季人：今ほとんどやってないですか。

◎この人のうちのを借りて。私の部落はもう中山なんだけど、はい山ひとつおいて、その向こう部落なんだけど。

季人：中山部落というと、もうそこから中山ずっと

◎はい、そうですね。近所におられたんですか？

◎今ここに住んでいるんですよ。あ、そうおじいちゃんが炭焼き稼業でね。この人の山を借りて、そこで炭焼きやってたんですよ。荷をその倉庫において、中山で30分もかかって歩いてるのが大変で、ここまで来なきゃならないのって、家空いたから借りて入ったら、そのおじいちゃんとおばあちゃん。

◎まあ、キミの餅だと美味しいよね？

◎うん、キミ餅は美味しいよ。私は好きだよ。

◎キミ餅なら美味しい。私は好きだよ。キミだってアワだってね。うん、美味しい。

季人：旅行なんか行かれますか？買い物なんかだいたい。

◎近所でお魚屋さん、八百屋さん来るからね、あと町行って。

季人：月に何回ぐらい行かれるんですか？

◎私は1回ぐらいですね。

季人：じゃあ近所で買い物は何回かするんですか？

◎1週間に1回ぐらいするかな。

季人：青梅駅なんか行かれますか。立川も。

◎私はもう体が弱いからね。私はね、行かないね。

季人：旅行なんか行かれますか？

◎行かないね。私はね。

季人：東京なんかも全然出られない。

◎1年1回じゃないね。わざわざ行かないね。

◎もう私は生きてるだけです。うん、もう希望なんでも、何もないです。本当に。おじいさんがまだ生きてるからね。おじいさんにだけ、私が先に死んじゃたら可哀そうだから。

季人：この間お会いしたおじいさんが85歳ですけど、ものすごいお元気です。

◎そういう人も無いけど、仕事のできる人はどこでも望みがあるからいいけど、私は仕事ができないしね。

◎ソバ掻きが、でもたまには美味しいですね。

◎うちは食べないよ。

季人：この部落にいますと買い物なんかで不便感じられますか。

◎そういうふうにあのお米屋さんも魚屋さんもできますからね。ただ、着るもんとかなんかは町に買いに行く。

季人：じゃあ大体こうここに居るだけで用が足りてしまうですね。

◎そうですね。

◎あのね、私は若い人たちと別にこうして暮らしてるけどね。若い人に迷惑かけないのはいいことですよ。私がいなけりゃ若い人が自由にできるから。邪魔者はいないし。

季人：そんなことはないですよ。自分なんかできれば大家族と一緒に住みたいと思うんですけど、

◎でも人によりけりでね。

季人：はい、都会に住んでて大きい家買うだけのお金がないから。

◎だから私が若い時にはね。ご飯 3 升ずつも炊いて、食べちゃって。だからこの辺は百姓でもないし、山仕事でもないし、貧乏だって言ったのはそこなんですよ。

季人：山林、今が持っておられるっていうこともないんだ。

◎私は持っていない。持ってる人だって。まあ、人に山をあのお金で売るだけでね。

季人：じゃあ何町分も持っておられる人はいないんですか。

◎あります。この方はずいぶん持ってますよ。

◎見るとか全部お宅のものだもの。

◎そんなことはないよ。

◎畑が全部見えるとこ、ここの人の

季人：この人の林業なんかでも力入れたらかなり

◎今ないからね。昔、昭和 30 年ぐらいまでは山で炭焼きがね。どうかこうかだったんですよ。

季人：まあ植林やっしまえば、何十年かかると言ってたからね。

◎笑でも車でまだ山上げて職人。材木にしても良かったけど、40 年以上はもうほとんどダメだから、材木は安いし、炭焼きはお金が合わないしね。炭使わなくなったからね。

季人：そうですね。

◎だからもうこの辺では、勤めて仕事してお金もらえば、何もありません。で、持ってる人が一部の人がわさびだとか作ってるぐらいで。

季人：そう、今、何も作っておられないですか？

◎自分の食べる物で野菜ぐらいを作る

季人：そうですか？じゃあそれちょっと教えてくださいませんか？お米なんかは

◎ちよつともできないですね。ここはね、

季人：ヒエも作っておられない。

◎そういうの作って。トウモロコシ少し作ってる。

季人：トウモロコシはどれくらい。

うん、そうまあ一坪。そうですね。一坪です。一坪ほんのちよつと、

季人：そうですか。一坪ですか。畝 2 枚くらい。

◎そうちよつとよ。そこの下にあるけど。ゴボウだって 1 坪くらい。ニンジンが半坪くらい。

季人：ソバ。

◎私この人たくさん待ってます。コムギの作らないで。ジャガイモ作って、あと素材を少し作って。その人の大人のひと、

◎どのくらいソバが入ってるあんたは。3畝ぐらい作るか。百坪、5畝ぐらい。

季人：今、おじいさんと2人だけですわね。

◎あの横道下ので4畝ぐらいだから、5畝ぐらい作って。4畝ぐらいかな。

◎私が1畝ぐらい借りてんのだから、私しょっちゅう1畝ぐらいかな。

季人：じゃ、主にそのなんか収入源っていうのは、

◎おじいちゃんがね、あの恩給が30万、私が28万の国民年金、それ以外1円の収入もなし。

季人：そういう恩給で主にやっておられるんですか。

◎だから、そういう恩給で同じやっております。で、恩給は30万でね。同じサイズの老齢年金くれないだから、誰がこんな規則作ったか。それでね。遺族年金もらって80万もらってる年寄りがね、老齢年金くれるんですよ、70歳以上が。それで内じゃたった30万の恩給で老齢年金くれないんですよ。ええ、それで月給とって行ったわけじゃないですよ。だっておじいさんが応じて兵隊にね、昭和12年のね、第一回召集したんだから。子供が4人に、81の目くらのおばあさん連れて、私が残って。12年の12月7月出て15年の2月帰ってきて、16年5月に女の子が生まれて。また16年の7月召集で行ってね。で、その時に88の眼くらのおばさんと子供5人残して行って、18年の春帰ってきて、その思いで取った恩給くれて。その後、老齢年金くれないんだから。月給取って行ったわけでもなんでもないんだからね。それであの老齢年金くれないのだから、誰がこんな規則作ったか、ずいぶん不公平だと思うね、私は。そうかといって何百万って言って、金に困らない人には70歳で老齢年金くれてんだから。私たちみたいにどうしても困る人にくれないんだから。国の方針ってどこまで馬鹿な規則こしらえた、軍人恩給なんかいくらもらって、その人に老齢年金くれて当たり前だと思うよ、私は。あの恐ろしい思いして、生きるか死ぬかで、うちに残ったものだと私なんかもうおばあさんと子供だけで誰も弟も兄弟も親も何もいないから。あの授業料もらってた国家の貧乏道具だったとまで言われてると言われていたのだから。そんな者にくれないんだから。どこまでも悔しい、国の方針。

季人：そうですね。

◎うん。だから2人の国民年金とね、おじいさんの恩給だけ暮らしている。でも困らないけど、働いたお金一円もおじいさんは貯金しとかなかったから。

季人：ちょっと今お餅にするのは、だいたいお米。

◎コムギ饅頭ぐらいだね、うちはじゃね。

季人：粉を買ってですね。

◎そうですね、

季人：お団子は作らないですか？

◎たまにはね、作る。ご飯が足りない時にはね。

季人：あの？あとワラビとか。

◎ワラビは俵が取ってきてくれれば食べます。

季人：ゼンマイなんかは。

◎ゼンマイ出ないです。ないです、ここには。

季人：お餅なんか食べるのだいたいお正月くらいですか？

◎3月のお節句とお正月にはあのお米でもって、もち米で作るよね。

季人：はい。

◎その間にはコムギ饅頭か、さもなきや春先取って来たヨモギ饅頭でも作る。

季人：こでは酒饅頭と言わないんですか？

◎うん、酒饅頭作る人もたまにはあるでしょ？

◎酒饅頭は美味しいですよ。たまに買ってきた。うちや昔うちで作ったんだけどな、

◎今、買ってきて食べるんです。

季人：じゃあ、あの聞きますから教えてください。あんまり字がうまくないから。

◎いえ、それだけ目が悪くてね。

季人：もうじゃあの。昔の食べ物はこれからもお食べになりますか？

◎うちは食べるよ、作ってるからねえ。

季人：今度、昔の食べ物を食べる会やってどんな意味があったと思いますか。こう先祖のものを知るとか、まあ、お宅ではずっとやっておられるから。

◎はいはい、

季人：食べて美味しいとか、どう思いますか？

◎それは篠田さんから聞いたほうが良さそうだね。

季人：いろんな方にも聞いてですね。

◎いやー、なんかもういや、どうもまあよかったと思うな。

◎よかったね。

◎まあ、ヘエ餅は食べても香ばしくて美味しいものね。確かに。

◎食べたいけどできないんだよ。

季人：今後もやった方がいいと思いますか？また、たまには。

◎あんたの気持ち。私はただだよ。

◎どうしたっていいんだ？

◎あんたの気持ち。

季人：まあ年に一回ぐらいは。

◎あんたの気持ち。

◎いいんだかどうかな。

季人：年に1回ぐらいは。

◎何か言っちゃってねえ、あんまりまあ、

季人：まあ大げさにやらなくて。

◎そうですよね。気の揃った人たちでね、はい。食べて。

季人：やっぱり水根の自然っていうのは恵まれてると思われますか？

◎恵まれてるとも、こんな恵まれたいいとこないもん。

◎空気がいいかね。

◎何を植えたかね。去年播いたからね。

季人：じゃあ役場とかなんか遠いですけど、そういったことは。

◎別にそうですね。別にまあ気にしないですね。

季人：もし住むとしたら、どっかここ以外のところは。

◎ここが一番いいですね。もうほかには。

季人：いや、僕も良いと思います。こういうところ来ると職がないし、土地もないですから。できれば来たいですね。じゃあ、水根部落ではどんな産業をこれから力を入れていくのがいいですか。林業とか

◎林業なんだけど。今んとこ林業はだめだねえ。もう。

季人：もう民宿とか。

◎民宿なんかいいって思うんだけどね。うちなんか民宿しろしろって言うんですよ。このうちで昔のまま。

季人：これくらい広ければ。

◎倅がね、あのそっちのうち 1 軒建ててね。自分たちの住まいにしてね。越してくれば、やってもいいんというんだけど、まだ今のところはね。まだ子供が小さいし。そうですね。この隣りやってる。あの去年から始めた結構来るらしいですね。

季人：そうですね。

季人：そういう食べ物を食べさせれば喜んで来る。

◎そうですね。まだ薪燃してるんですよ、うちじゃ。

季人：そうですか。農業をずっと今の状態で続けて行かれることなんですか。

◎ええ、まあ、できる限り、今のままね。ずっとまだやれるうちはやっ払いこうと思ってて。

季人：買い物はだいたい近所で済まされるんですか？

◎そうですね。

季人：週にやっぱり 1 回ぐらいですか。

◎週に 2 回ぐらいは町出てきますけど、

季人：青梅の

◎氷川まで

季人：週に 2 回なんですか

◎そうね。週に 1 回か 2 回ですね。お魚屋さんも野菜も乾物屋さんも車で来るんです。お米屋さんは月に 2 回行きます。

季人：青梅とか立川なんか行かれるんですか？

◎あんまり行かないです。

季人：月に 1 回も。

◎ええ

季人：旅行なんかは、

◎旅行は老人会でね。年に 2 回ぐらい行きます。

季人：どちらのほうへ。

◎今年はね、あの 4 月に善光寺さんに行ったんですよ

季人：だいたい北陸とか中部地方に行くんですか？

◎遠くじゃないです。遠くの旅行もあるけど、遠くまで行けないからね。だいたい 2 泊 3 日くらい。

季人：じゃあ山梨県

◎そうですね。はい。それから群馬とかね。

季人：はい、

◎あっちのほうなんですよ。群馬の四万温泉とかのほう行くぐらいなんですよ。

季人：じゃあ買い物はもうほとんど不便だっということには感じられない。

◎そうですね。感じないね。ほとんど野菜物はとりますからね。

季人：今、お米は作っておられないんですね。

◎うん、昔からできないです。

季人：陸稲も作っておられないですか？

◎昔は陸稲作ったんだけど、今、作ってないんです。

季人：ヒエはどれぐらい作ってるんですか？

◎ヒエ、いくらもない。一さくじゃ。

季人：1畝もないですね。アワは。

◎アワは向こうにやはり10坪くらいもあるかな。あとキミは10坪あるかな。

季人：ヒエは1畝くらいあるかな。

◎アワは半分ぐらいだから、16坪くらいかな。そんなんじゃないかね？

季人：モロコシはちょっとだけですね。ちょっとです。やっぱシエゾヒエもちょっとですね。

季人：トウモロコシはないですか。

◎トウモロコシ作ってもカラスに食われちゃうんですよ。はい、実が入るころになると、カラスが食っちゃうからね。全然作ってないです。

季人：ソバは4畝くらい作る予定ですね。

◎秋ソバだけです。

季人：アワもちなんですか？

◎もちアワです。キビもちですね。モロコシもちですねえ。

◎あのアカモロコシね。

季人：アカモロコシというんですか。あれはエゾヒエなんですね。

◎自分で出来る出来ないから。ソバだけ2升くらい挽いてね。それも干しとかないとね。

季人：オオムギはどれくらい作っているのですか。

◎オオムギ、コムギは作らないんです。前は、うんと作ったんだけどね。

季人：タネなんかは小菅からもらって来られるんですか？

◎あの小菅の方からもらったんですよ。

季人：エゾヒエは。

◎まだまだ作ってるんだね。

◎エゾヒエ、それからあのアカモロコシをもらってきたんです、今年。あとはみんな家で取ったタネ、キミもアワも。

季人：ヒエは中山からもらったんですね。

◎ええ、もらってね。去年もらった。今年、あのうちで取ったのです。

季人：野菜なんかの種子はどっかで買うんですか。

◎種子はみんな農協で買ってきます。氷川農協で。

季人：氷川まで行かれて

◎あの電話でも持ってきてくれますから。

季人：ええと今は63になられたんですね。主に農業をやっておられるて。ご主人は。

◎ぼちぼち、あのね、大東戦争で戦死したんです。

季人：今お一人で住んでますか？

◎そうなんですよ。

季人：息子さんなんかみんな、

◎息子、今、あの小作に行ってます。青梅のほうの会社のうちにいます。

季人：じゃあ今主にもうやってなかった？

まあ、農業と、ワサビ少しやるぐらいです。ワサビは少しやっています。

季人：ワサビやっておられるんですか。ワサビだったら割と高く売れますよね。

◎それが遠くまで行くんです。ここからあのこの山奥で2時間もかかって歩いて行くんですよ。

季人：そんな遠くに行くんですか？

◎あの六石の方に行く、鷹巣の登り道なんだけど、

季人：去年向こうからかな。

季人：鷹巣だったら、峰の

◎いや、鷹巣に行く途中なんです。鷹巣に行く、あのね、ここからずっと上がって行ってね。あそこにあの東京都の水源林の小屋があるところまで。あそこに分かれて行ったことあります。はい、杉山入るでしょ？

季人：はい、

◎杉山の中であんな杉山に、条山から杉山に入るでしょう。だから杉山の中にわさび田があるよね。

◎そのあのワーク杉山のこうあのなんだっけね。登り切って平らがあったところね。よく入る道があるところなんですよ。だってスギ山の中で東京都にしる。まあもっとも東京都の地所。

◎親父が炭焼いたのは東京都だから。

季人：お餅を作られるのは？えっとお米ですね。陸稲を作っておられないからお米買って作られた。

◎お餅作ったのは正月と3月ぐらいですね。うん、それである。

季人：キミのお餅作られる、

◎お正月ね、

季人：キミとアワと、アカモロコシとヒエ、みんなモロコシお餅にしております、やき餅にして、チョウセンビエも。

季人：ご飯はお米だけですね。

ええ、今のご飯日日とかは冷えのヒエのご飯。ご飯食べたことないんですけど、今度たくさんとれたらね。ヒエの粥でも煮て食べようかと思って。

季人：お粥なんか作るの、だいたいお米。

◎ええ。

季人：お団子作るの？

◎小麦ですね。小麦の粉ですね、

季人：あんこ入れて。

◎前は、お米の粉を買ってね。2キロぐらい買って饅頭作って近所中配って。今そういうの作っても食べてないからね。甘い物。

季人：ソバなんかで団子は作らないですか。

◎ソバは打ってお蕎麦にして食べるんですよ。

季人：トウモロコシを作っておられない。餅を作るのはお米にキミぐらいですね、キミのお赤飯。よかったね。

◎ワラビはうちのそばで取って食べますけど、ゼンマイはないんです。

季人：繭玉なんか今作らないですか？

◎もう作られない、11年も前から。

季人：ちょうど一年ちょっと前ですね、8月1日に伺ったですね。

◎そうですね。まあ、そういう大変。他の方が来た時にはね。縁側でクズ取りやっつての。ジャガイモがうんとこ腐るんでね、ジャガイモのクズ取りやっつてたの。

季人：水根の1226ですね。

◎それで少しお勝手でも直して、屋根を直して。まあ、いつのことかわかんないけど。みんなしろしろと言うんだけど。下の班はそのね、この前、書いてあったけどね。やりたい。あそこね。下の班がね、しっかり治してね。

季人：大正の初めなんですか？お生まれは。

◎大正5年2月の15日。

季人：こちらのおばあさんは、教えてください。

◎明治40年のね、3月23日です。

季人：お名前は。

◎島崎ハナです。

季人：ハナというのは

◎カタカナです。まあ、この頃の子供にはあったかな、カタカナの字はずいぶん難しくなってるね。カタカナでハナです。けどこの頃は難しいだな。だっていろんななんか、あの病院にしろ、どこにしろ、書いてもらって、ハは右が小さいでしょ？逆に右が大きくて、八の字みたいだからね。だからカタカナは難しいだなんて思って。

季人：難しいですよ。

◎昔は1年からこんなカタカナから教えてるから。今はひらがな教えているからね。カタカナ難しい。今だって一人前の方が書くのがそう書いてる。やっぱだって。だからカタカナ難しいなあとって。

季人：えっと何番地でしょうか？

◎同じですね。あそこは1221ですね。一番下は1番。

◎だからカタカナ難しいだなんて思って。

季人：自分も字が下手だから。よく分かりませんが。

◎そうじゃなくてね。カタカナを小さい時に教えてないから。今少しカタカナ使わせるとしたら、今少し1年生の2学期ぐらいまでにカタカナ習わせた方が良くと思う、私も。

季人：あんまり使いませんから。英語なんかやるより、そういうものやった方が良くないですよ。

◎あの使わせないけど、かなり入ってるのね。いろんなことについてね。ひらがなではなくて、また横文字はみんなカタカナだものね。

季人：そうですね。

◎私なんかもう習った字こと忘れちゃった。畑で、山や畑で追いまくられて、

◎私はもう今の方が立派だ。小学校は尋常6年の時なんか6月一人の先生で、

◎まあ読むにどうにはどうにかこうにか読むけど。うんダメだとしたら？いやいや、

◎あの6月で一人でしょ？それでわんぱくの中にいるし、もう先生が教えることもできるもんじゃね？うちでは兄さんや親でもあれば。私は誰もいないし、親は字を知らない。6年生終わったときに今の2年生ぐらいの6年生終わった時に、残念せいだけには。

◎ぬるくなっちゃたか。

◎今の2年生ぐらいの本が読めなかった。6年生終わった時には。今の子供はもうちっちゃい時から字に親しんで。私は6年生終わった時に今の2年生だか字が読めなかったもん。6年生終わったところ教えてください。

◎温くなっちゃいましたね。

◎だから昔の全く私なんか自分が。学校は行ったけど、読めない人がいたよ。

季人：昔は、色々忙しかったですから。

◎そうですね。

季人：子供でもお手伝いで。

◎あの私なんかあの親なし子で育ったから。

◎どうですか？じゃあこっちでも

◎そうですね、

◎かもしれないけどね。学校行ってもう帰ってくるとお蚕しろ。よそのお宅のお茶摘みするとかね。もう山に行って、5年、4年生ぐらいから立ち枯れ拾いだ。覚えるだから中も預ける一番大きいんだけど、私が、おじいさんが17、8の時にそれでも女だからボロ使ったか。なかったかもしれない。なんか書けもしないで覚えてもない。

季人：私の祖母がいくつかな、79歳ですね。79で手紙書てきますよ。名古屋に住んでいます。

◎すべてあの、その人はまた環境良かったでないですか。生い立ちが。

季人：そうでもないんじゃないですか？お父さん、お母さん、満足そうだね。なんか姉さんか兄さんみたいな。

季人：自分が一番長女で十人兄弟に子守ばかりさせられたんじゃないですか。

◎なんか。そうやって字の上手い人がね。あのね、字のうまい人いるよね、老人会行くとね。牧野のおばあさん、あれ90ぐらいだったかな。

◎88 だんべ、丈夫だよ。まだ、あのタバコのお母さんか、死んだんだよ、去年か一昨年、奥多摩病院行って、うろついてる話をしたぜ。

◎違うよ、今年も老人会出られないと思ったが、出てきて、あの色白の。うん、

◎直ったのか。

◎そのね6年しか行かないんだけど、ちゃんと手紙書いてここに字を書いてね。前立ててね、挨拶するんだけど。

◎大したおばあちゃんだね。

◎それでね、あの上手に書いて、見てくれてちゃんと書いて、またそれがとても手で書くんですよ。大したもんだね。取って見せてもらったけど忘れた。それを書いて自分でね。前と今爺婆になって、

◎去年の春、自分の奥多摩病院に入って、

◎もうね、あの老人会ね。来られないと思ったら、また今年もこられた。自分でその字書いて、自分で書いてビックリしちゃった。上手に書いて人間その人も素直ってくる約束ちゃうんだからどうしよう？

◎私なんかもとっくに死んでるのに、生きてるんだから。

季人：分かんないですよ。

◎本当にだって、肺があのレントゲン撮って反応して、この場所がちょうど空白い雲が出たはず。太陽の光線をさしたり、真っ白だったもの。先生が通さなかった。そして帰っても、その晩苦しくて、うちにいられないって入院したんだけど、そしたらここから先チアノーゼで真っ黒になって、このぶどう色になっちゃう？

◎いやだね。

季人：やっぱりこういう土地におられるから。それでもいろいろいいんですよ。

◎そしたら肺炎起こした時になんか2週間ぐらいのこと、全然自分で分からない。気が付いたら、ここはこんなに腫れて真っ黒になって痛い。婦長さんが手当てしてくれて、そしたら嫁が来、て婆ちゃんはベッドから落っただけ。だから自分が気が付いて、パンツなんか取り替えとして新しいのがいっぱいあんじゃなかよ。これ、誰が買ってきたのって親父に聞いたら、お前が小便しちゃって取り替えるものがないから、カヨコが買ってきたんだよ。

季人：しょうがないですよ。そればかりは。

◎3週間目になって、ようやくこのぐらいのパンが食べられて。今日はどの先生が回診だったのって看護婦に聞いたの。今日おばあちゃん2月11日で先生お休みだよ。正月の21日からのこと全然わからんけどそうしてね。だからちょうど21日など2月21日なんか正月の20日だった。なんかおばあちゃん教えようって、パンが食べられたから先生に話したいって。でまた話しておいてあげるよ。そして翌日先生連れてきて、おばあちゃん、先生になんて言いたかったじゃないのって言うから。先生に昨日の朝からパンが食べられて本当に嬉しいですよと言った。良かった。その前の先生が食べられると、先生、重湯、このぐらいのもんだとすごく苦しいんですよっていうとね。先生が食べてもらわなきゃ困るんだけどなあって。それでもね、あのこうやって生きているから。その後で肺が真っ黒なつて。

季人：こういうところだからいいんですよ。街中だったら。

◎街中だったらもうね。だから寿命があれば生きられるんだよ。もうその酸素通さなくなった時には、もう先生だめだと思って、その悪い盛りに来てさあ、明日にもよくなったら帰っていいよって言った、ある先生は聴診器当てた・・・

②守屋秋子さんと対談

2026年予定

③岡部良雄・セツ子夫妻と鼎談

2026年予定